

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えみのさと			
○保護者評価実施期間	2024年10月15日 ～ 2024年10月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年10月20日 ～ 2024年10月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	来所日に応じて、児童一人一人に個別に課題や工作等の準備を行っています。一日を楽しく有意義に過ごしてもらえるようプログラムを組んでいます。	利用する児童の様子や雰囲気でも個別の課題や活動内容を変化させる等、臨機応変に対応出来、変化に富んだ活動を心掛けています。	児童一人一人が、意欲的に取り組めそうなものや興味を示せそうなものの種類等、増やしていきたい。
2	地域の行事（収穫体験・祭り・地域清掃等）に参加にさせていただいている。	地域清掃等にも参加し地域の方々と行事を通じて、友好的な関係を築いていきたい。又、地域活性化に協力していきたい。	参加出来る地域業には積極的に参加し、地域の方々との親睦を兼ねてイベント開催も今後検討していく
3	同法人内での事業所間の連携が日頃より取れており、児童の育ちの関わりや支援方法の継続が出来る。	モニタリング等の話し合いや情報共有を行っている。	継続していきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルやガイドラインを整備していても情報量の多さで把握しきれない	マニュアルの種類が多く、又、情報量が多く職員周知が難しい。	ミーティングでひとつずつ取り入れていく
2	専門職員の配置が難しい	専門職（言語聴覚士・作業療法士等）の配置が出来ていない	採用を検討する
3	外部研修への参加が出来ていない	外部へ行くことになると職員の勤務調整が困難であり、多数の職員が参加出来ない事が多い。	内部研修やオンライン研修の有効活用し、職員全員が受講できるように工夫していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 えみのさと

公表日 令和7年 2月 2日

利用児童数 令和6年 11月 末日

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			3	随分前に見学したので、また面談時に見学したい。	保護者の方がいつでも見学や参観出来るように会報誌等で案内していく。又、見学や参観しやすいように日程を設ける等の工夫を行う
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2		4		適切な人員配置であることを伝えていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17			3	2階の部屋を見る機会がないのでわからない	保護者の方がいつでも見学や参観出来るように会報誌等で案内していく。又、見学や参観しやすいように日程を設ける等の工夫を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			2	2階の部屋を見る機会がないのでわからない	保護者の方がいつでも見学や参観出来るように会報誌等で案内していく。又、見学や参観しやすいように日程を設ける等の工夫を行う
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					今後も支援力の強化に取り組んでいきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20					今後も適切なプログラムの提供を行っていきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					今後も適切な支援計画作成に努めていきます。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					今後も具体的な内容の記載の継続を行っています。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	20					今後も継続していきます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1		1		活動プログラムの提示方法を考えていきたいと思っています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	3	6		土曜日に地域や他の児童との交流する事がありますが、そのほかの日にちでも交流を検討していく。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					引き続き丁寧な説明の継続をしていきます。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					引き続き丁寧な説明の継続をしていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	2	4		要望があれば、研修会の機会を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	20					今後も引き続き共通理解を心掛けていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					引き続き、継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					引き続き、継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	7	6		引き続き、継続していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1		3		定期的に面談や会報誌等で、説明を行っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1				わかりやすく情報伝達を心掛けていきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20					引き続き、継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			2		個人情報の取り扱いには今後も注意を払っていきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2		2		保護者の方にわかりやすく周知の徹底を行っています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20					引き続き、継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			3		保護者の方にわかりやすく周知の徹底を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			2		保護者の方にわかりやすく説明の徹底を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					引き続き、継続していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1				引き続き、継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					引き続き、継続していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		えみのさと		公表日		2025年 2月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		広いスペースが必要な活動では、椅子・机を隅に片付けて広く使っている	引き続き継続を行っています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		日毎に職員の役割分担を行っているが、児童の対応に追われて、役割がこなせない時もあるが、職員間で役割を代わる等、工夫をしている	児童同士のトラブルの際に職員が数名対応しないといけない場合があり、連絡帳の記入ができない時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		一日の流れはホワイトボードで表示。又、個別課題や工作・余暇時間の過ごすスペースは、机の場所等で分けている。	引き続き継続を行っています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々、掃除を行っている。気づいたときに掃除を行っている。	日々掃除を行っているものの気づかない汚れがある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パニックや不安定の児童での対応として、1階や2階の静かな空間での個別対応を行っている	個別対応を希望する児童が習慣化される事を考えていきたい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		サービス開始前に一日の流れや最近の様子を伝えて支援を行う。また、サービス終了後には振り返りを行っている	引き続き継続を行っています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングで話し合いの機会を設け、意見を取り入れ改善に努めている	引き続き継続を行っています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティングを行い、必要に応じ書面や回覧で周知している	引き続き継続を行っています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価の申し込みを検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月のミーティングや時間の余裕があるときに動画等での研修を受けている	引き続き継続を行っています
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			引き続き継続を行っています
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5		最低6か月毎には職員担当者会議や職員モニタリングを行い、課題の分析を行っています	限られた時間や限られた期間での話し合いが難しいところではありますが、継続していきます。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		日々のミーティングや振り返りなどで共通理解が出来ている	引き続き継続を行っています
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		最低6か月毎には職員担当者会議や職員モニタリングを行っています。又、日々のミーティングで共通理解が出来ている	引き続き継続を行っています
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個別のファイルに綴じている。いつでも確認が出来る。	引き続き継続を行っています
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			引き続き継続を行っています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員個々で提案し、月間スケジュールに表している。同じ活動が重ならない様に行っている	引き続き継続を行っています

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員個々に提案し、月間スケジュールに表している。同じ活動が重ならない様に工夫している	引き続き継続を行っています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5			引き続き継続を行っています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日の役割分担があり、チームで連携をしている	引き続き継続を行っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		業務日誌等で、出勤していない職員にも伝えられるようにしている	引き続き継続を行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録は、その日に行っている。支援の検証に役立つように備考欄を設けて、特記事項には、色を変えて目立つように工夫している	引き続き継続を行っています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		最低6か月に一度は行っている。	引き続き継続を行っています
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5			引き続き継続を行っています
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		児童主体の会議を行い、発表する機会を設けている。又、発言が苦手な児童も出来るよう、職員が付き添っている	引き続き継続を行っています
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			引き続き継続を行っています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		情報共有は常に行われている	引き続き継続を行っています
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		児童発達支援センターとの連携は行われていない。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域の行事やイベントには参加出来ている。	機会があれば積極的に参加させていただきま す
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		自宅に送り届けた際に保護者の方に今日の出来事を簡単にお伝えしています	引き続き継続を行っています
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族の方へ助言は行っていますが、研修は職員のための研修が行われています	要望があれば、家族の方が参加出来る研修も検討していきます
	32	【児童事業所・児童センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児童事業所・児童センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児童センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児童センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児童センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校行事等の連絡は、基本保護者の方から連絡をいただいています。下校時の変更等のトラブル発生時には、学校と連携を行っており、適切な対応が出来ている	引き続き継続を行っています

	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			引き続き継続を行っています
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		情報提供を行っています	引き続き継続を行っています
	40	【放デイのみ】 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1			機会があれば参加していきます
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っています	引き続き継続を行っています
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		6か月内に一度は、保護者や児童との面談でもニタリングを行い、保護者や児童の意向を聞いている。	引き続き継続を行っています
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		説明を行い同意の上、署名をしていただいています。	引き続き継続を行っています
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて、電話や面談での対応を行っています。また、定期的に面談も行っています。	引き続き継続を行っています
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	保護者の方が相談に来られた際に兄弟が事業所内で過ごす事はある	保護者会や保護者同士の交流の場を今後検討していく予定であるが、保護者や児童の過ごせる場所の確保や保護者の方が行きたいと感じてもらえる内容を模索している。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			迅速な対応に努めています
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月会報誌を発刊。SNS等の活用を行っています。	引き続き継続を行っています
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			引き続き個人情報の取扱いに留意していきます。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		児童には、視覚からわかるようにツールを使用するなどの工夫をしている。	引き続き継続を行っています
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域の行事（お祭り、そうじ等）に積極的に参加している。	コロナ感染症等から自粛していましたが、今後、検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			適切な助言を今後も心掛けていきます
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルは見える所にあり、避難訓練は毎月行っている。	引き続き継続を行っています
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的な避難訓練は行っている	引き続き継続を行っています
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		てんかんのある児童の状況と対応に関して、保護者の方や医療機関と連携を行っています。また、職員とミーティングにて共有。	引き続き継続を行っています
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	5		食物アレルギーの児童名や食物名をわかりやすいところに掲示し、提供するおやつ等を確認している	引き続き継続を行っています
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	ヒヤリハットの記載を行い、ミーティングで共有し、安全に配慮している	引き続き継続を行っています
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全面を考慮したうえで支援の提供を行っています	引き続き継続を行っています

	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月の全体ミーティング内で、ヒヤリハットの報告と同時に事故につながらないように検討し、改善を行っている	引き続き継続を行っています
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員全員、研修を受ける機会を設けている	引き続き継続を行っています
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		やむを得ず身体拘束を行ってしまう件について、職員や保護者に説明し、支援計画にも記載しています	引き続き継続を行っています